

審査委員 (予定)



委員長
本保 芳明

国連世界観光機関 (UN Tourism)
駐日事務所代表



David Atkinson
株式会社小西美術工藝社 社長

石原 義郎
株式会社航空新聞社 編集統括

太下 義之
同志社大学 教授

最明 仁
公益社団法人日本観光振興協会 理事長

関口 和一
株式会社MM総研 代表取締役所長

高橋 広治
日本政府観光局 (JNTO) 理事長代理

高橋 広行
一般社団法人日本旅行業協会 会長

宮川 暁世
株式会社日本政策投資銀行
産業調査部長 兼 地域調査部担当部長

森下 晶美
東洋大学国際観光学部国際観光学科 教授

涌井 雅之
東京都市大学 特別教授

ほか、経済産業省、観光庁より各1名就任予定 (敬称略・五十音順)

ジャパン・ツーリズム・アワード大賞 / 国土交通大臣賞 一覧

(第5回から国土交通大臣賞)

最優秀賞を受賞した
過去の取組をご紹介します。



第1回 2015年度 受賞

瀬戸内国際芸術祭実行委員会
瀬戸内国際芸術祭の開催による
地域再生の取組



第2回 2016年度 受賞

飛騨高山国際誘客協議会
官民協働での
外国人観光客の誘致・受入



第3回 2017年度 受賞

南三陸ホテル観光
「震災を風化させないための
語り部バス」による
地域交流活性化の取組

アワード受賞 4つのメリット

1 ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 会場内で「ジャパン・ツーリズム・アワード受賞」の告知を行うため、外部からの評価向上、および新たなビジネスパートナーの発掘につながります。

2 受賞後、3年間は受賞のロゴを利用できるため、外部に向けてのPRができます。

3 主催三団体から、あらゆる機会を通じて広報されるので、モチベーションの向上につながります。

4 ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 公式ホームページにおいて受賞取組を紹介します。



第4回 2018年度 受賞

一般社団法人雪国観光圏
地域連携DMOによる
新たなブランドづくり
「真白き世界に隠された知恵に出会う」



第5回 2019年度 受賞

株式会社百戦錬磨
「農泊」と「世界」をつなぐ
地域活性化サービス



第6回 2020年度 受賞

奄美イノベーション株式会社
集落文化×「伝泊+まーぐん広場」
が創る「日常の観光化」を国内外へ展開



第7回 2023年度 受賞

沿線まると株式会社
過疎高齢地域での
「沿線まるとホテル」プロジェクト



第9回

「ジャパン・ツーリズム・アワード」

ツーリズムEXPOジャパン

～旅は“知”の再発見～



第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

国土交通
大臣賞

愛知県
愛知県「休み方改革」プロジェクト

「愛知県「休み方改革」プロジェクト」を「国土交通大臣賞」に選定いただき、大変光栄に思います。「休み方改革」は、日本の休暇取得のあり方の見直しを通じて、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化の実現を目指すもので、2023年度からプロジェクトを始動し、今年度2年目となります。この取組を広げていくための活動は、全国知事会においても行っているところですが、行政だけでは成し得ません。観光業界の皆様とも力を合わせ、休み方改革を共に推進いただくよう、お願いします。



第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

経済産業
大臣賞

株式会社ナビタイムジャパン
訪日外国人向け観光ナビゲーションサービス
「Japan Travel by NAVITIME」(インパウンド)

このような名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。ナビタイムジャパンでは、創業以来、経路探索の技術ですべての人々の安心・安全な移動支援に取り組んでいます。「Japan Travel by NAVITIME」は、訪日外国人旅行者の移動課題を解決し、日本の魅力を楽しんでいただきたい思いから提供を開始しました。また、そこから得られたデータを解析し、地域の観光資源の発掘や観光施策にも活用いただいています。今回の受賞を励みとして、今後も、旅行者が快適に楽しめるよう価値提供を続け、観光産業の持続的成長に貢献してまいります。



問い合わせ先
【担当窓口】



ジャパン・ツーリズム・アワード募集事務局

☎ 03-5246-7221 ☉ info@jta.event-infodesk.com (受付時間：平日10:00～17:00)

※この冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しております。



ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸 開催概要

【開催日】2025年 9月25日(木)～28日(日) 【会場】Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 【テーマ】旅は“知”の再発見
【主催】公益社団法人日本観光振興協会(JTTA) / 一般社団法人日本旅行業協会(JATA) / 日本政府観光局(JNTO)



第9回「ジャパン・ツーリズム・アワード」 募集要項



「ジャパン・ツーリズム・アワード」の趣旨

世界で起こっているさまざまなパラダイムシフトに対応すべく、ツーリズムもニューノーマルに向けた変化が強く求められています。どのような困難や制約の中にあっても、旅行者・生活者の Well-being（※）を実現する。雇用機会の創出などを通じて地域の経済社会の活性化を果たしていくことはもとより、国境や地域を越えた相互理解の深化を実現し、日本のみならず世界の成長、ひいては平和の実現をけん引する。こうした「旅のチカラ」の再生と持続可能性を確保していくために、ツーリズムは進化し続けなければなりません。

（※）Well-beingとは「肉体的にも精神そして社会的にもすべてが満たされた状態」にあることを指しています（世界保健機関 WHO の定義より）

そしてその実現に向けて、地域社会への貢献、安心・安全の確保、生産性の向上、環境への配慮など、ツーリズムが取り組むべき課題は多岐にわたります。

ジャパン・ツーリズム・アワードは、「旅のチカラ」の再生と持続可能性の確保につながる組織・企業・団体・個人の取組を参考となる事例として表彰し、ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸との連携により、優れた受賞取組をモデルケースとして広く世の中に知らしめ、さらなるツーリズムの発展に貢献していくことを目的とします。

各賞 (予定)



審査のポイント

革新性

- ▶ 取組自体がイノベーションを促進し、新しいビジネスモデルとして新たな市場を開拓しているか
- ▶ 観光DXの推進による旅行者の利便性向上や観光産業および地域産業の生産性向上等へ貢献しているか
- ▶ イノベーションの取組が地域経済の活性化および地域・産業等の持続可能性の向上に新たな地平や展開をもたらすものであるか

事業性

- ▶ 観光地・観光産業の高付加価値化等の取組による「稼ぐ地域」の実現や観光産業の収益力向上等へ貢献しているか
- ▶ 収益・財源確保が見込まれ、利用者の満足度が高い等、市場に認知され、受け入れられている取組であるか
- ▶ 持続可能な観光の推進に向けた取組の継続性や実効性を高めるものであるか
※取扱人数、来訪者数、取扱件数、実施回数、観光消費額、経済効果等の具体的な実績、見込み、目標を明記すること

持続可能な観光への貢献

- ▶ 持続的に取組を実施していくことが可能であるか
- ▶ 環境への配慮、歴史・文化遺産等の地域資源の活用・保全、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティ、リスクマネジメントなど持続可能な社会の実現に貢献しているか

地域活性化への貢献

- ▶ 多様なステークホルダーと連携し、地域社会の発展に貢献した取組であるか

審査について

応募資料をもとに観光を始めとする各界の有識者で構成する審査委員会にて各賞を決定し、表彰します（審査委員につきましては裏表紙をご参照ください）。

スケジュール 応募締切 2025年 5月30日(金) 23:59 厳守

※応募データ登録時刻による
※締切間際の応募は通信状態により締め切り間に合わない場合がありますのでご注意ください

2025年 6月上旬
第一次審査

2025年 7月中旬
第一次審査結果発表

2025年 8月上旬
最終選考会

2025年 8月下旬
最終選考結果発表

2025年 9月25日
表彰式
Aichi Sky Expo
(愛知県国際展示場)

応募方法

ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸の公式ホームページにある応募フォームに従って取組概要を入力の上、応募ください。
A4用紙、3〜5枚程度にまとめた取組概要を補足する資料および画像を添付していただくことを推奨いたします（連続応募の場合、前回応募からの進展部分を記載してください）。
画像等の添付も応募フォームよりアップロードできます（必ずキャプションをつけていただき何の画像かわかるようにしてください）。

- ▶ 応募の際は応募規約を必ずご確認ください
- ▶ 応募段階で事業開始している取組を応募条件とします
- ▶ 入力の中でも応募内容の保存および変更ができます
- ▶ 応募写真、資料、図表ファイルは6点までとし、容量は合計30メガバイト（1点あたりのファイルサイズの制限はありません）までとします
- ▶ 応募資料に添付する写真・画像等の著作物については、当該取組が受賞した際に主催者が作成する受賞取組一覧等の制作物への掲載を許諾するものとします

応募について

▼ 応募種別

- 自 薦** 〈対象〉 団体・個人が自らの取組を応募する場合
 - 他 薦** 〈対象〉 団体・個人の取組を第三者が推薦する場合
- どちらの応募方法でも、公正な審査を経て受賞者を決定いたします。

※他薦の場合の注意事項

- ▶ 推薦者は、必ず取組事業者の承諾を得た上で応募してください
- ▶ 推薦者は、取組事業者の個人情報を取り扱う際、適切な配慮をお願いいたします
- ▶ 応募の際は、推薦者が所定の応募フォームに必要事項をすべて入力してください

▼ 応募対象

- ◆ ツーリズムの拡大に資する事業展開をしている組織、企業、団体
(国、政府、観光局、大使館、自治体、観光協会、DMO、NPO法人、旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、流通、食品、ICT、農林水産業・加工業、伝統工芸、みやげ品制作、販売業、TV局、新聞社、出版社、フィルム・コミッション、スポーツ・コミッション、産業観光など)
- ◆ 観光の振興・発展に貢献した個人

▼ 応募対象となる取組

- 1 持続可能な観光地域づくりへの取組
- 2 国際相互交流促進への取組
- 3 国内交流拡大への取組
- 4 アウトバウンド拡大への取組

【具体例】
国内旅行、海外旅行、
訪日インバウンド対応、
観光地経営、
テクノロジー（技術）、
サービス/ソリューション、
産業観光、
MICE、スタートアップ

▼ 補足事項

1. 法人格の有無は問いません
2. 複数の団体・企業の共同の取組も対象にします
3. 連続応募も可能です
※前回の応募に対して改善・進展 変化した事を明示する資料の添付が必要ですよ
4. 同一団体・組織でも取組内容が明らかに異なる場合は複数案件の応募も可能です
5. 応募段階で事業開始している取組を対象とします
6. 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体、その関係者またはその他の反社会的勢力に該当しないことを前提とします

受賞者の声

数々のおよろこびの声を
いただいております。

受賞を機に、従業員の観光産業発展のための新たな挑戦マインドが醸成できたように思います。地元九州を盛り上げるべく、もっと頑張っていきたいと思います。
【旅行部署】

受賞を通して、チャレンジングな取組でも、自信をもって継続していこうという機運を醸成できた。
【観光協会】

自社リリースや各地のイベントなどで受賞報告を行ったことで、県内外の関係団体へ幅広く発信を行えた。
【観光、コンベンション推進団体】

受賞をしたことで地域社会への貢献、持続可能な観光の実現に向けてのモチベーションがさらに高くなりました。
【旅行会社】

会社として取り組んできたウェルビーイングが賞として対外的に認められることで、社内外に向けて自社の取組を発信する機会となり、企業のブランド価値や採用力の強化にもつながった。
【地域活性化事業者】

受賞により、学生達が自分たちの取組の価値を、改めて実感することができ、自己肯定感が上がるだけでなく、ガクチカとして就活の大きな武器になった。また学校広報に活用することで、観光学部ブランディングになり、学生募集の追い風となった。
【大学観光学部】